

# 中富記念くすり博物館だより

2025年2月1日発行 No.342

## 2,3月イベント情報

2月

15日(土)

16日(日)

23日(日)

24日(月)

### 薬研で作る 七味唐辛子



昔のくすり作りの道具「薬研」を使い、材料をすりつぶし七味唐辛子を作ります。辛さ（小辛、普通、大辛）追加の材料（ゆず、生姜、赤しそ）を選び、自分好みのオリジナル七味を作ることができます。

体験・材料費 1000円（20gビン入り）  
500円（10g袋入り）  
※別途要入館料



20g(ビン入り) 10g(袋入り)

3月20日~  
5月25日

### 薬木薬草園 フォトコンテスト 2025-春夏-

薬木薬草園及び庭園の植物を撮影して応募しよう！  
選定はプロカメラマンが行い、入賞者には賞品を贈呈します。

### 開館記念日（入館料無料）

3月  
28日(金)

1995年3月28日に開館した当館は、2025年30周年を迎えます。これを記念し、同日は入館料無料です。



## おくすりやさんのラムネ

「正論丸」「ビヲフェロモン」「独身打破」！  
ミュージアムショップ人気商品の「おくすりやさんのラムネ」。

“誰もが知っているくすり”をオマージュしたパッケージで、そのユニークさには“くすっ”と笑っちゃうこと間違いなし。

中身は昔懐かしい駄菓子のラムネで、価格は6袋入りでなんと180円！

友達、会社、自宅用のちょっとしたお土産に大人気です。

強烈なタイトルのパッケージ。

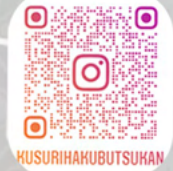
あなたはどれがお好みですか？



## イベント詳細はこちら↓



公式HP



Instagram



facebook



LINE@

## 薬草美術館 絵画の中の植物をご紹介します

チョコレートの原料であるカカオは、メキシコ、中央アメリカを原産地とし、16世紀にヨーロッパに伝えられ、当時は疲労回復などの飲料として紹介されました。18世紀に入るとカフェ形式のチョコレート店が広まりますが、当時は高価で上流階級が飲むことのできる贅沢な飲み物でした。

この作品にはお盆に乗せたホットチョコレートと水を運ぶメイドの姿が描かれています。磁器のカップはマイセン、漆塗りのお盆は日本製といわれており、こぼさないように慎重に運ぶ様子が絵画から感じ取れます。

モデルの女性はウィーンのチョコレート店でメイドとして働いていた、アンナ・バルトアウフといわれています。

あるとき彼女の店に公爵ディートリヒシュタインが訪れアンナに一目惚れし、すぐさま結婚を申し込みます。騎士の娘であるアンナと貴族の恋…身分の違いから家族に反対されますが、それを押し切り、2人は結婚します。

この絵画はスイスの宮廷画家、ジャン＝エティエンヌ・リオタールにより描かれ、当時の画家たちは「リオタールの最高傑作」と高く評価しました。

